



鳥取県の次世代を担う学生たちが議場の壇上に立ち、知事らに県議会本番さながらに質問する学生議会が、10月17日(火)に開催された。

昨年度は高校生が対象だったが、今年度は大学・高専の学生が対象。鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校から各2名ずつ、合計10名の学生が参加し、地域活性化や県内企業への就職問題などについて活発な議論を展開した。

参加した学生たちは普段の生活の中の疑問や学生としてのいろいろな活動を通して感じている思いを質問として取り上げ、学生ごとに配置された県議会議員にアドバイスを受けながら練り上げていき、福祉や環境、インフラ整備などあらゆる分野の鋭い質問がぶつけられた。

公立鳥取環境大学の澤田雄太さんからは「学生への情報発信が不十分だ。県だけでやるのではなく、私たち学生と一緒にやりませんか。」と積極的な提案がされた。

参加した学生の皆さんからは、「参加したことで県政についていろいろなことを調べる機会が得られた。」「自分が普段疑問に思っていることを県議会という場で質問でき、とてもよい経験になった。」

「他の学生の違った視点からの意見を聞くことができ、貴重な経験ができた。」などの感想が聞かれた。

学校名	学生氏名	質問項目
鳥取短期大学	郡 千 陽	ピンクで鳥取県の活性化を図る
公立鳥取環境大学	澤田 雄太	各地の団体が行っている企画の情報の宣伝には、どのくらい力を入れているのか。
鳥取大学	吉田 典央	大学生等の県内企業への就職について
鳥取看護大学	中村 千尋	高齢者の交通手段確保について
鳥取大学	金子 睦月	インフラ整備について
米子工業高等専門学校	小西 沙季	鳥取県における自然エネルギー等の発電について
公立鳥取環境大学	大森 祐貴	地域活性化について
鳥取短期大学	門脇 琴美	外国人観光客をさらに増やすにはどうすべきか
米子工業高等専門学校	大黒 和真	県の原発事故後の対策について
鳥取看護大学	三浦 菜穂	世代間交流について

(質問順)